

令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

小学校 第3学年 「図画工作（日本教出版）」

4 2時間（7096）

週	領域	題材名	題材の内容	時間数	留意点
1	A表現 (1)イ (2)イ B鑑賞 (1)ア 絵	絵のぐ+水+ふで=いいかんじ! 2時間	水彩絵の具で思いのままにかきながら自分の色や形を見付け、いろいろ試して色や形の感じを捉えながら、表し方を工夫して絵に表す。	2	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。
2	A表現 (1)イ (2)イ	くるくるランド 5時間	回る仕組みから表したいことを見付け、形や色などの感じを捉えながら、前半学年までの経験を生かして表し方を工夫し、楽しく表す。	5	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。 ・使用する材料をある程度制限し、時間削減に配慮できるようにする。
3	B鑑賞 (1)ア	空きようきのへんしん 5時間	空き容器と紙粘土の組合せ方を工夫し、形や色などの感じを捉えながら、生活の中で楽しく使えるものをつくる。	5	・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。
	工作 【選択】	ふき上がる風によって 5時間	送風機やうちわなどでつくる上向きの風で、ホリ袋やPETテープなどを浮かせながら表現しながら表したいものを見付け、形や色などの感じを捉えながら、材料や風の使い方を工夫して楽しい動きを表す。	5	・使用する材料をある程度制限し、時間削減に配慮できるようにする。
4	A表現 (1)イ (2)イ B鑑賞 (1)ア 立体 【選択】	切ってかき出しくっつけて 2時間 カラフルフレンド 2時間	用具を使って粘土を切ったりかき出したりしてできる形の感じを捉えながら、表したい形を見付け、表し方を工夫して立体に表す。 いろいろな色の材料や形を組み合わせながら、表したいものを見付け、形や色などの感じを捉えながら工夫して立体に表す。	2 2	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。 ・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。
5	A表現 (1)イ (2)イ	わたしの6月の絵 4時間	「6月」を探して見付けたり感じたりしたことを基に、色づくりやいろいろな表し方を楽しみながら、形や色などの感じを捉え、表し方を工夫して、自分の感じた「6月」を絵に表す。	4	・実施する「月」によって題材名を変える。 ・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。
6	B鑑賞 (1)ア 絵 【選択】	あの日あの時の気持ち 4時間	生活の中で心に残っていることから表したい様子を思い浮かべ、感じたことや思ったこと、気持ちに合う表し方を考え、形や色などの感じを捉えながら、表し方を工夫して絵に表す。	4	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。
7	B鑑賞 (1)ア 【選択】	身近な葉を集めたり、比べたりして、形や色などの感じを捉えながら、自然の造形的なよさや面白さを味わう。 2時間 身近な石を集めたり、比べたりして、形や色などの感じを捉えながら、よさや面白さを味わう。 2時間	身近な葉を集めたり、比べたりして、形や色などの感じを捉えながら、自然の造形的なよさや面白さを味わう。 身近な石を集めたり、比べたりして、形や色などの感じを捉えながら、よさや面白さを味わう。	2 2	・事前に校庭の葉を集めたり、家庭から持ってきたりできるようにする。 ・事前に校庭の石を集めたり、家庭から持ってきたりできるようにする。
8	A表現 (1)イ (2)イ B鑑賞 (1)ア 絵 【選択】	ベタパタひらくと 3時間 土でかく 3時間	段ボール箱の形や色を変化させながら、見え方の面白さに気付いたり表したいことを考えたりし、形や色などの感じを捉えながら、表し方を工夫して協力して表す。 土の色や感触を味わいながら、表したいことを見付け、色や形などの感じを捉えながら、表し方を工夫して絵に表す。	3 3	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。 ・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。 ・色や粒子の異なる土を用意し、事前に洗濯のり等と混ぜておく。
9	A表現 (1)イ (2)イ B鑑賞 (1)ア 造形遊び 【選択】	「小さな自分」のお気に入り 2時間 クミクミックス 2時間	身の回りがある場所を、「小さな自分」の目で見て、形や色などの感じを捉えながら、どのようにつくりかえるのかを考え、活動を工夫してさらにお気に入りの場所に表す。 段ボールの板に切込みを入れて組み合わせることから活動を思い付き、形などの感じを捉えながら、組合せ方を工夫して、新しい形をつくる。	2 2	・デジタルカメラやタブレットPCなどのデジタル機器を活用して、記録する。 ・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。

10 11	A表現 (1)イ (2)イ B鑑賞 (1)ア 工作	くぎうちトントン	金づちで釘を打つ感触を味わい、いろいろな打ち方を試しながら釘を打つてできる形を見付け、形などの感じを捉えながら、工夫して表す。	5	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。 ・釘を打ち込みやすい木材を使用する。
12 ~ 14	A表現 (1)イ (2)イ B鑑賞 (1)ア	ことばから形・色	詩や物語から思い浮かべた様子や雰囲気に基づいて表したいことを見付け、どのように表すか考え、形や色などの感じを捉えながら表し方を工夫して絵に表す。	5	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。
	絵 【選択】	ひらいて広がるふしぎなせかい	画面を切って開けたりめくったりしながら、不思議な世界を想像し、形や色などの感じを捉えながら、表し方を工夫して絵に表す。	5	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。
15 ~ 17	A表現 (1)イ (2)イ B鑑賞 (1)ア	ゴムゴムパワー ~ゴムゴムでトコトコ~	ゴムの力で動く仕組みをつくり、その動きから思い付いたものを、身近な材料を使い、形や色などの感じを捉えながら、表し方を工夫して表す。	5	・着色は、油性ペンを使ったり、色紙を貼ったりすることで、絵の具の乾燥時間を削減できるようにする。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。
	工作 【選択】	ゴムゴムパワー ~ゴムゴムでスルスル~	ゴムの力で動く仕組みをつくり、その動きから思い付いたものを、身近な材料を使い、形や色などの感じを捉えながら、表し方を工夫して表す。	5	・作品への着色は、油性ペンを使ったり、色紙を貼ったりすることで、絵の具の乾燥時間を削減できるようにする。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。
		マグネットマジック ~くっつく力で~	磁石が鉄を引き付けたり、磁石同士で互いに引き合ったりする方を利用して、動かして遊ぶものを考え、形や色などの感じを捉えながら、身近な材料の使い方を工夫して表す。	5	・作品への着色は、油性ペンを使ったり、色紙を貼ったりすることで、絵の具の乾燥時間を削減できるようにする。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。
		マグネットマジック ~しりぞけ合う力で~	磁石同士の互いに反発し合う力を利用して、動かして遊ぶものを考え、形や色などの感じを捉えながら、身近な材料の使い方を工夫して表す。	5	・作品への着色は、油性ペンを使ったり、色紙を貼ったりすることで、絵の具の乾燥時間を削減できるようにする。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。
18 19	A表現 (1)イ (2)イ B鑑賞 (1)ア	ねん土マイタウン	住んでみたい町、あったらいいなと思う町の様子を想像し、形などの感じを捉えながら、建物や道などの形や、そのつくり方を工夫して、お互いに見合ったりつなげたりしながら油粘土で町をつくる。	3	・作品の大きさを小さくするなど、時間削減の配慮をする。 ・油粘土を使用することで、粘土の乾燥時間を削減できるように配慮する。
	立体 【選択】	クリスタルアニマル	光を通す材料の形や色を生かして組み合わせながら表したいことを見付け、形や色などの感じを捉えながら、自分の表したい生き物を表す。	3	・着色には、油性ペンを使用し、乾燥する時間を削減する。 ・ペットボトルやストロー、透明なプラスチックのスプーンやコップなどの材料の準備については、事前に家庭に伝える。
20 21	A表現 (1)イ (2)イ B鑑賞 (1)ア 絵	いろいろうつして	材料を組み合わせて版をつくりながら、表したいことを思い付き、形や色などの感じを捉えながら、表し方を工夫して版に表す。	4	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。

※時間数の精選方法（例）

○同じ領域の題材を選択して扱う。

- ・例えば、工作の題材として、「くるくるランド」「空きようきのへんしん」「ふき上がる風によって」のいずれかを選択して実施するなど

○加工に時間がかかる材料を扱うことを避けたり、作品の大きさを小さくしたりして、製作時間の短縮を図る。

○題材によっては、乾燥に時間がかからない、油性ペンや色鉛筆、クレヨンなどの用具を使用する。

○題材によって多様な表現技法を提示することで、児童が選択して製作に臨めるようにする。

○製作途中の相互鑑賞は、鑑賞の視点を明確にし、短時間で行うことが考えられる。

○振り返り（製作した作品の鑑賞等）の活動は、休み時間などを利用し、展示された作品を鑑賞するなどの工夫をすることが考えられる。友達の作品に対するコメントは、作品の名札に付箋紙を貼るなどの工夫をすることが考えられる。

○アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題として扱う。（提出されたアイデアスケッチや設計図などは、「表す」時間の前にチェックし、助言をワークシート等に記入して児童に返す。）